

ドキュメンタリー映画

「棘2」独白 の上映 & 武建一さんのお話しと懇親会

関生支部 武委員長（当時）が逮捕されたのが2018年8月28日、640日の拘留から保釈されたのが2020年5月29日でした。映画は、朝6時ころ組合事務所の事務所のシャッターが開けられ、武委員長が現れるところから始まります。

“恫喝も暴力も手錠も私を止めることはできない”

武建一

- ・映画「棘2 独白」 65分、2021年製作
- ・製作 ニライカナイ塾
- ・監督 杉浦弘子
- ・プロデューサー 平林 猛



武建一関西生コン支部元委員長の裁判は、大阪でのストライキ事件・滋賀の2事件併合で2021年7月13日に懲役8年の求刑に対する大阪地裁判決 懲役3年執行猶予5年（控訴棄却、上告棄却）で確定。京都地裁での京都3併合事件が検事求刑10年に対し、2025年2月26日に無罪判決が出ている（検察が控訴、大阪高裁で控訴審）。他の関西生コン関連のいくつかの裁判が続いています。

武建一さんは裁判も闘うが、産別運動としての労働運動と業界再建に粘り強く取り組んでいます。私たち管理職ユニオン・関西も、可能な範囲で応援をしています。

組合員の希望もあり、続編「棘2」の上映会と、武建一さんのミニ講演会を決めました。参加をお待ちしています。

日 時 2025年6月21日（土）午後2時～4時30分
午後2時～「棘2」独白 上映
午後3時10分～ 武建一さんのお話し
午後4時～ 懇親会

場 所 管理職ユニオン・関西 組合事務所

※ 組合員の皆さんの友人知人の参加も構いません

他労組・団体の方は、06-6881-0781 まで連絡ください

※ 参加・懇親会のカンパをお願いします

必無話中 鑑賞注意 ニキタナツタの映画



2 独白

一瞬止めた力も手錠も、
いとはてな。

語り
大久保鷹
エンディング曲
PANTA(頭脳警察)

監督・編集
杉浦弘子

プロデューサー
平林猛
映像提供
藤山頭一郎

島唄
松山晃久
サウンド・エンジニア
山崎益弘

協力
川井竜一

ヴァジュアル
浅葉克己

写真
亀村佳宏

技術協力
コムワークス

制作協力
寺内なりあ

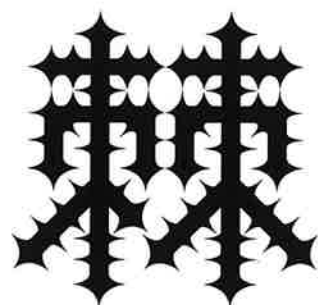
製作
リクト・ヤマト

協力
全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部

2021.11.9.



杉浦弘子 監督作品 ドキュメンタリー映画



2

独白

恫喝も暴力も手錠も、
私を止めることはできない。
武建一

「やられたらやりかえす」関生魂ここに在り。

徳之島の貧困の中で育った武建一。裸一貫で生コン業界に飛び込み60年。食べるため、家族を助けるため、そして生続けるために始めた仕事だった。だが、蔑まれ、虐げられていく中で労働運動と出会い、大きな目標を持った。それは労働者が誇りを持って働ける環境作りであった。その為に闘った。組合潰しを狙った様々な現実が目の前にあった。それでも武建一は「背景資本」と対峙し、様々な団体と共同関係を結び、多くの成果を上げてきた。正月三ヶ日しか休日がなかったタコ部屋同然の労働環境で始まった運動は年間休日125日、平均年収800万円を実現。また、未組織労働者の休日、賃金、雇用、退職金、福祉などの整った条約を締結。しかし、このような取り組みが、国家権力に

よって一方的に断罪された。企業の倫理とも言える「コンプラ活動」は「恐喝」とされ、憲法で認められている「ストライキ」は「威力営業妨害」だとされた。だが、挫けない。武建一の目標は人間らしく生きられる社会、希望を抱ける社会が目標である。今回の事件で多くの仲間を失った。結果として関西生コン支部は組合員が激減。しかし、全国に多くの仲間がいる。情熱も失ってはいない。理不尽さに初めて義憤を感じ、拳を空に突き上げてから60年前のあの日とまったく闘志は変わっていない。いかなる「恫喝」も「暴力」も手錠も運動を止めることはできない。「やられたらやり返す」の関生魂は勝利を目指す。

プロデューサー 平林猛

「ふたつの顔を持つ男」

今思えば2年前、捕らわれの身となった「人間、武建一」を救い出したい！そんな無謀な想いと交差して、どこまで行っても越えられない権力や法の壁の前に「私如きに救えるはずがない！」と絶望する。しかし、後者を頭から「ええい！」と払いのけ、制作に没頭する。そして「棘」が完成してみると、驚いたことに作品はプロデューサーや監督の手を離れ、生命を得たように「棘」は胎動を始めたのだ。そして武建一の行脚を迎えるように、全国の支援者たちの手で「棘」が上映されていったのである。武建一は、清濁を包み込むような

柔らかな語り、時に目を輝かせ、時に語気を強め世に喝を入れる。その二面性を表すように「私の顔の半分は優しく、もう半分は闘いの顔と言われるんです」と武は語る。「優と闘ふ」ふたつの顔を併せ持つ男、武建一の独白を一刻も早く皆さまに届けたい。その想いを抱きながら「棘2」の独白武建一は完成した。

映画「棘2」を支えてくれたクリエイターの皆様、そして関西生コンを支援するすべての皆様に感謝する。

映画監督 杉浦弘子

映画「棘2」～独白 武建一 【2021年製作／65分／日本】©2021 NIRAI KANAI PICTURES

<書籍のお知らせ>

武建一さんの愛読書となり、京都府警内で評判になった伝説の本

評伝 **棘男** (労働界のレジェンド 武建一)

著者 平林 猛 展望社 定価 本体2,000円+税

書評(一部抜粋)

良く闘う者は必ず弾圧される。で、武さんの心中察してあまりあります。と同時に、怒る平さんの筆勢とどまらず、ありゃあ、平さん、熱くなってらあ、と感動しました。

橋本克彦(大宅壮一ノンフィクション賞受賞作家)

ニライカナイ塾

〒336-0911 さいたま市緑区三室2269-6 FAX 048-875-5394

平林 090-1422-4764 hirabayashi1613@gmail.com

杉浦 090-4727-6109 sugiura.hiroko39@gmsil.com

ニライカナイ塾ホームページ <https://niraikanai-jyuku.jimdofree.com>

◆「棘」及び「棘2」独白の上映会のご相談はいつでも承っております。